SOTEC

困ったときには・・・

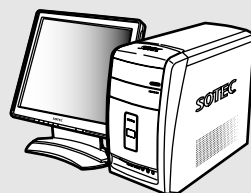
（動かない・・・、おかしいな・・・、の疑問にお答えします。）

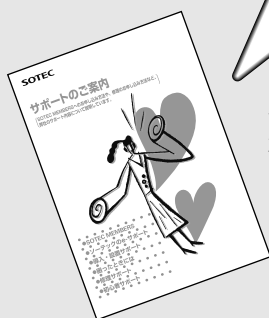
- 困ったときのチェックリスト
- よくある質問集
- 工場出荷時の状態に戻す

付属マニュアルの読みかた

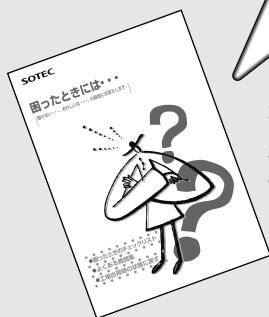
まず、これを読もう！

⇒ユーザーズガイド

セットアップ方法から、本製品を使用するための基本的な操作方法を説明しています。
また、本機に接続できるさまざまな周辺機器の説明をしています。

サポートに関しては

⇒サポートのご案内

カスタマーID　登録･保証書のお申込書の方法や、修理依頼の方法などサポート内容について説明しています。

おかしいな？と思ったら

⇒困ったときには…

本機をご使用中に何らかのトラブルが生じた場合、トラブルの解決方法と、トラブルを予防する方法について説明しています。

「おかしいな？」と思ったら

本機のご使用中にトラブルが発生したり、疑問に感じたことがあれば、あわてずに次の項目をチェックしながら対処してください。

まずはじめに

あわてて対処しないでください

トラブルが発生したと思ったら、パソコンをそのままの状態で1分くらい放置してください。すぐに電源を切ったり、むやみにマウスのボタンを押したり、キーボードのキーをたたいたりしないでください。

また、何らかのメッセージが表示された場合は、そのメッセージを書きとめてください。

1 本書で該当する項目を探しましょう

☞「1　困ったときのチェックリスト」(8ページ)

本書に該当する項目があれば、本書の指示に従って解決してください。

2 オンライン情報から該当する項目を探しましょう

☞「パソコンで調べる」(3ページ)

本書以外にも、弊社Webサイト「ソーテックオンラインサポート」や、Microsoft社のWebサイト「マイクロソフトヘルプとサポート」を利用して問題を解決できます。トラブル解決のためのQ&Aが掲載されています。また、Windows　XPおよびアプリケーションソフトのヘルプもご活用ください。

3 パソコンを工場出荷時の状態に戻しましょう

☞「3　工場出荷時の状態に戻す」(39ページ)

本製品に付属しているリカバリCD-ROMを使って、本機をご購入時の状態に戻します。

(この作業をリカバリーといいます)

リカバリーする前には、必要なデータや設定情報のバックアップを取ってください。

4 SOTECテクニカルサポートセンタに連絡しましょう

☞別冊「サポートのご案内」

以上の方法でどうしても解決できないときは、SOTECテクニカルサポートセンタに連絡してください。連絡する前に、別冊「サポートのご案内」をよくお読みになり、注意事項などをご確認ください。

本書の表記について

●本書で使用している表記について

補足的な説明や、知っておくと便利なポイントです。

操作してはいけないこと、または操作するときに注意するポイントです。

参照していただきたい別冊のマニュアルやオンラインヘルプを紹介しています。

その単語の詳細が別ページに紹介、または説明されています。本文とあわせてご参照ください。

□で囲んでいる文字はキーボードのキーを意味します。

●本書に出てくる画面について

本書ではWindows XP Home Editionの画面で説明しており、ご購入頂いたモデルの画面と異なる場合があります。また、お客様が画面の表示モードを変更された場合も、本書に出てくる画面と異なる場合があります。

●ノートブック型パソコンをお使いの場合

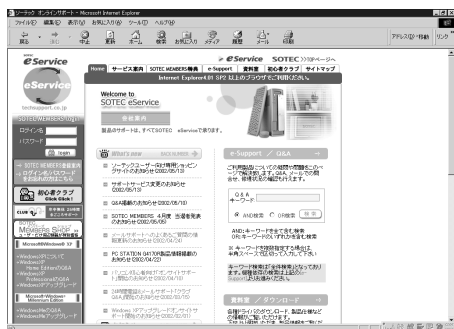
本書で「マウス」と記載されている箇所は、「タッチパッド」と置き換えてお読みください。

●本書に出てくるアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional 日本語版 または、Microsoft® Windows® XP Home Edition 日本語版
IME 2002	Microsoft® IME 2002
Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 6.0
Outlook Express	Microsoft® Outlook™ Express 6.0

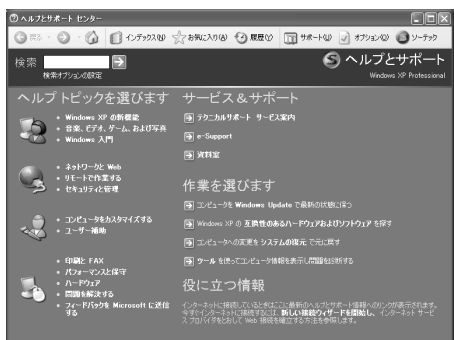
パソコンで調べる

本書以外にも、次のWebページおよびヘルプをご参照ください。お客様がパソコンをご利用になる際に、有用な情報が提供されています。

ソーテックオンラインサポート (http://sotec.techsupport.co.jp/)

弊社製品の仕様の公開や、SOTECテクニカルサポートセンタに寄せられる質問などを掲載しています。また、各製品ごとに、ドライバおよびプログラム類のダウンロードもできます。

マイクロソフトヘルプとサポート (http://www.microsoft.com/japan/support/)

Windows固有の技術情報を中心に掲載されています。Windowsの不具合の修正プログラムもこのWebページよりダウンロードできます。

ヘルプとサポート ([スタート]ボタン→[ヘルプとサポート])

Windowsおよび本機に関して、知っておくと有用な情報を掲載しています。また、Windowsのトラブルシューティングおよびチュートリアルもご利用になれます。

目　次

CD/DVD読み取りのトラブル

音楽CD

データCD

DVD

周辺機器のトラブル

ハードウェアのトラブル

インターネット／LAN接続のトラブル

困ったときのチェックリスト

トラブルが発生した、または発生したと思ったら、下のチェックリストでパソコンの症状をチェックしてください。

1 パソコンの電源はONになりますか？

●ONになりません（☞ 10ページ）

ONになります

2 Windowsは起動しますか？

●セーフモードで起動します（☞ 12ページ）
●起動しません（☞ 11ページ）

正常に起動します

3 Windowsの画面は表示されますか？

●Windowsの画面ではなくメッセージが表示されます（☞ 11ページ）
●表示しますが、正常ではありません（☞ 30ページ）
●セーフモードで表示されます（☞ 12ページ）
●アイコンが黒くなります（☞ 32ページ）

正常に表示されます

4 Windowsは正常ですか？

●正常ではありません（☞ 31～38ページ）

正常です(次のページに進んでください)

5 どこが異常だと思いますか？

●マウス（☞ 15～16ページ）

●キーボード（☞ 15～16ページ）

●フロッピーディスクドライブ（☞ 18ページ）

●プリンタ（☞ 23ページ）
・正常に印刷できない（☞ 16ページ）

●CD/DVD（☞ 18～22ページ）
・ディスクドライブが出し入れできない（☞ 18ページ）

・音楽CDが正しく作成できない（☞ 19ページ）

・データCDが正しく作成できない（☞ 20ページ）

・DVDビデオが正しく再生できない（☞ 21～22ページ）

●ハードディスクドライブ（☞ 26ページ）

●インターネット（☞ 27～28ページ）

●LAN（☞ 28ページ）

●USB（☞ 24ページ）

●メモリースティック（☞ 24ページ）

●SCSI機器（☞ 25ページ）

●スピーカ（☞ 29ページ）

よくある質問集

本機のご使用中に遭遇する、よくある質問や問題をまとめました。SOTECテクニカルサポートセンタへお問い合わせいただく前に、ご確認ください。

パソコンを起動する前に

Q1

海外のコンセントに接続して使用できるか

A

・**海外で使用することはできません。**

日本国外で本機を使用される場合は、サポート対象外となります。

パソコンが動かない

Q2

電源スイッチを押しても動かない

A

デスクトップタイプ

・**電源ケーブルは抜けていませんか？**

電源ケーブルを差し込んでください。

ノートタイプ

・**ACアダプタは正しく接続されていますか？**

ACアダプタのプラグが本機と正しく接続されているか、ACアダプタの電源プラグが電源コンセントに正しく接続されているかをご確認ください。

・**バッテリは十分に充電されていますか？**

ACアダプタを接続して、バッテリを充電してからご使用ください。

・**ACアダプタが故障している可能性があります。**

他の電気製品を本機が接続されている電源コンセントに接続して、他の電気製品が動くかどうかご確認ください。他の電気製品が正常に動くようであれば、ACアダプタが故障している可能性があります。SOTEC テクニカルサポートセンタへお問い合せください。

・**本機が故障していることがあります。**

SOTECテクニカルサポートセンタへお問い合せください。

Q3

画面に何も表示されない

A

・**本機の電源はONになっていますか？**

本機の電源LEDを確認し、消えている場合は本機の電源スイッチをONにしてください。

デスクトップタイプ

・**パソコンとディスプレイとの接続はパソコン起動前に行ってください。**

ディスプレイの認識はWindows起動時に行われるため、パソコンを立ち上げた後にディスプレイを接続した場合、パソコン側に認識されません。
完全起動後であれば、パソコンとディスプレイの接続コネクタを抜き差ししても問題はありません。

・**ディスプレイのケーブルは外れていませんか？**

ディスプレイのケーブルを正しく接続してください。
本機とディスプレイの接続についてはそれぞれのモデルの「ファーストステップガイド」をご参照ください。

・**ディスプレイの電源はONになっていますか？**

ディスプレイの電源をONにしてください。

ノートタイプ

・**表示モードの設定が外部ディスプレイになっており、外部ディスプレイの電源がOFFになっていませんか？**

本機の電源をONにし直してから再度、外部ディスプレイの電源スイッチをONにしてください。または、Fn＋F3キーを同時に押して、表示モードを液晶ディスプレイに戻してみてください。

Q4

パソコンの電源をONにしたところ、黒い画面に英語の文字が表示され、Windowsが起動しない

A

・**フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入ったままになっていませんか？**

フロッピーディスクを挿入したままパソコンの電源をONにして起動すると、このメッセージが表示されます。もし入っていれば、フロッピーディスクを抜いていずれかのキーを押してください。

上記方法でも解消しない場合は、リカバリーを試してください。
なお、リカバリーを実行すると、Windowsが工場出荷時の初期状態に戻り、お客様がハードディスクドライブに保存されたデータは全て消去されてしまいます。必要なデータは、あらかじめバックアップを取ることをお勧めします。
リカバリー方法は、「工場出荷時の状態に戻す」をご参照ください。(☞39ページ)
一部のアプリケーションについては、個別にインストールしていただく必要があります。

・**これで回復できない場合は、ケーブルとハードディスクドライブの物理的な接触不良の可能性もありますので、SOTECテクニカルサポートまでお問い合せください。**

Q5

パソコンを起動したところ、「セーフモード」という文字が画面に表示され、通常よりも低い解像度で起動している

A

・この状態は誤動作ではなく、「セーフモード」というWindowsを正常な状態に戻すための診断モードです。

セーフモードで起動した場合、ドライバや周辺機器との接続に問題があるか、何かの設定が壊れているかなどの原因が考えられます。セーフモードは、不具合の原因がどこにあるかを調べて、それを解消するための起動モードであるため、不具合がどこにあるかを調べるための最低限の操作のみを行うよう設定されています。

問題解決後(自動修復含む)、再起動を行うと通常どおりWindowsが起動いたします。

Q6

周辺機器を取り付けたらWindows XPが起動しない

A

・周辺機器のデバイスドライバが原因で、Windows XPが起動できなくなった可能性があります。

「セーフモード」でWindows XPを起動して、トラブルの原因と思われるデバイスドライバを無効にしてください。この方法でWindows XPが正常に起動した場合、正しいデバイスドライバをインストールするか、デバイスドライバ自体を削除する必要があります。
「セーフモード」でデバイスを無効にするには、次の操作に従って設定してください。

①本機の電源をONにし、メモリチェックが終了したらF8キーを連打してください。
②[Windows拡張オプションメニュー]が表示されるので、「セーフモード」をキーボードで選択してください。
③[オペレーティングシステムの選択]で「Microsoft Windows XP」を選択してください。
④ユーザー名を選択してください。セーフモードでWindows XPが起動します。
⑤【デバイスマネージャ】ダイアログを表示させ、追加した周辺機器の【プロパティ】ダイアログで[全般]タブをクリックしてください。
⑥「すべてのハードウェアプロファイルを使用する」のチェックを外し、[OK]ボタンをクリックしてください。
Windows XPを再起動すると、通常モードでWindows XPが起動します。

・この方法でもWindows XPが起動しない場合、本機の電源をOFFにしてから、新しく取り付けた周辺機器を外してください。

Q7

強制終了できない

A

・**Ctrl+Alt+Delete を同時に押しても、強制終了できない場合、電源スイッチを4秒以上押すことにより電源を切ることが可能です。**
その際、必ず各種アクセスLEDがついてないことをご確認ください。上記の方法で電源が切れない場合、次の方法で電源を切ってください。
デスクトップ・・・電源プラグを抜いてください。
ノートブック・・・ACアダプタをはずし、バッテリが装着されている場合は、バッテリも取り外してください。

パソコンを使っていたら

●画面上のトラブル

Q8

いきなり画面が消えた

A

・**スタンバイに入った可能性があります。**
電源スイッチを押してください。

・**休止状態になった可能性があります。**
電源スイッチを押してください。

デスクトップタイプ

・**電源ケーブルが電源コンセントから外れていませんか？**
コンセントまたはプラグを差し込みなおしてください。

・**ディスプレイのケーブルが外れていませんか？**
ディスプレイのケーブルを正しく接続してください。

ノートタイプ

・**ACアダプタのプラグが電源コンセントから外れていませんか？**
コンセントまたはプラグを差し込みなおしてください。

・**スタンバイまたは休止状態に入った可能性があります。**
電源スイッチを押してください。

・**バッテリの容量切れの可能性があります。**
バッテリを十分に充電してから、接続してください。

Q9

表示される日付や時刻が正しくない

A

・**日付や時刻が間違った設定になっていませんか？**

Windowsのタスクバーの時刻をダブルクリックして「日付と時刻のプロパティ」を起動します。【日付と時刻のプロパティ】ダイアログで正しい日付や時刻を設定してください。

デスクトップタイプ

・**パソコンに内蔵されている電池が切れている可能性があります。**

マザーボードに取り付けられているリチウム電池の寿命は、平均2～3年です。

Q10

日付の設定を変更しても元に戻ってしまう

A

・**電池容量切れになっている可能性があります。**

日付設定などのバックアップ電源として内蔵電池を使用しています。この内蔵電池が容量不足になると、日付設定などのデータ保持ができなくなります。
電池は消耗品ですので、寿命があります。寿命についてはお客様のご使用状況により大きく異なりますが、平均2～3年です。

マウスやキーボードのトラブル

Q11

マウスポインタが動作しない

A

・**接続ケーブルが外れていませんか？**

接続ケーブルを正しく接続してください。それでも動かない場合は、本機を再起動してください。

・**本機の電源をONにした後にマウスを接続していませんか？**

マウスを接続後、再起動してください。

・**適正なマウスドライバを使用していますか？**

付属のマウス以外を使用する場合は、専用のマウスドライバが必要なものがあります。使用するマウスに付属のマウスドライバを正しくインストールしてください。

Q12

ノートタイプ

キー入力中に突然カーソルが別の場所に移動してしまう

A

・**タッチパッドの表面付近では、小さな反動でもカーソルが移動してしまうことがあります。**

親指がタッチパッドの表面付近にあるときなど、タッチパッドの表面のタッピング機能が反応することがあります。

Q13

ノートタイプ

タッチパッドを使用したとき、マウスカーソルの動きが悪いことがある

A

・**タッチパッドの表面が埃や汗などによって汚れていると、このような現象が発生することがあります。**

清潔な布などで、タッチパッドの表面の汚れをふき取ってからご使用ください。

Q14

押したキーと違う文字が表示される

A

・**CapsLock、ひらがな/カタカナなどが間違って押されていませんか？**

目的の文字がタイプされるようにCapsLock、ひらがな/カタカナキーを押してください。

・**キーボードのドライバは適正なものですか？**

キーボードのドライバがお使いのキーボードに対応したものではない可能性があります。キーボードのドライバを更新してください。

Q15

デバイスマネージャ上で日本語106(109)キーボードが、英語101(102)キーボードと表示されてしまう

A

・この現象は、Windows XPのシステムがプラグ アンド プレイでキーボードを認識する際に、英語101/102キーボードが指定されているために発生します。

回避策として、次の方法を試してください。デバイスマネージャから、次の手順で日本語106/109キーボードに変更します。

①[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[システム]アイコンを選択して、[ハードウェア]タブをクリックします。
②[デバイスマネージャ]ボタンをクリックして【デバイスマネージャ】ウィンドウを開きます。「キーボード」にある英語101/102キーボードをダブルクリックします。
③[ドライバ]タブを選択し[ドライバの更新]ボタンをクリックします。
④「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」をチェックして、[次へ]ボタンをクリックしてください。
⑤「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をチェックして、[次へ]ボタンをクリックしてください。
⑥「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックを外してください。
⑦「モデル」欄から「日本語 PS/2キーボード(106/109キー)」を選択して、[次へ]ボタンをクリックしてください。
⑧[はい]ボタンをクリックしてドライバを更新し、パソコンを再起動してください。

印刷のトラブル

Q16

印刷できない／印刷がおかしい

A

・プリンタの電源はONになっていますか？

プリンタの電源をONにしてください。

・使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」に設定されていますか？

次の手順で設定変更してください。

① [スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[プリンタとFAX]を選択します。
②【プリンタとFAX】ウィンドウが表示されるので、使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、「通常使うプリンタに設定」をクリックします。

・プリンタケーブルが外れていたり、接触不良を起こしていませんか？

本体とプリンタが、プリンタケーブルで確実に接続されているか、ご確認ください。

・プリンタの用紙・トナー・インクが切れていませんか？

プリンタに付属の取扱説明書に従って、用紙・トナー・インクを補充してください。

・プリンタが印刷可能な状態になっていますか？

プリンタの状態が「印刷可」や「オンライン」の表示をしているかご確認ください。また、プリンタに付属の取扱説明書を参考に設定をご確認ください。

・プリンタのテスト印字はできますか？

プリンタには一般的にテスト印字機能があります。この機能を使ってテスト印字してください。テスト印字についてはプリンタに付属の取扱説明書をご参照ください。テスト印字ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

・プリンタケーブルの種類は適切ですか？

プリンタによっては、製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかない場合があります。プリンタに付属の取扱説明書で、使用するケーブルをご確認ください。

・プリンタの設定は正しいですか？

プリンタに付属の取扱説明書を参考に、設定が正しいかご確認ください。

・プリンタドライバは正しくインストールされていますか？

新しくプリンタを接続したときは、プリンタドライバのインストールが必要です。
なお、なるべく最新のデバイスドライバを使用することをお勧めします。最新のデバイスドライバは周辺機器メーカのホームページから入手できます。

・プリンタドライバの設定は正しいですか？

プリンタドライバの設定によっては正しく印刷されないことがあります。プリンタの設定に関してはプリンタに付属の取扱説明書を参考にするか、プリンタのメーカにお問い合わせください。

データの書き込みのトラブル

Q17

フロッピーディスクの内容が読み書きできない

A

・フロッピーディスクは正しくセットされていますか？

フロッピーディスクを正しくセットして、もう一度やり直してください。

・フロッピーディスクをフォーマットしていますか？

フロッピーディスクをフォーマットしてからご使用ください。

・フロッピーディスクの内容が壊れていませんか？

壊れた内容は元に戻りません。バックアップを取ってある場合は、それを使用してください。大切なデータはバックアップを取るように心がけてください。

・書き込みの際、誤消去防止スイッチが「LOCK」にセットされていませんか？

フロッピーディスク裏面のライトプロテクトノッチが、書き込み禁止の位置にないか確認してください。

CD/DVD読み取りのトラブル

Q18

CD-ROM/DVD-ROMドライブのディスクトレイが出し入れできない

A

・パソコンの電源はONになっていますか？

パソコンの電源をONにして、CD-ROM/DVD-ROMドライブのCDイジェクトボタンを押してください。電源がOFFになっている状態では出し入れできません。
電源がONになっているのにディスクトレイが出てこない場合は、CD-ROM/DVD-ROMドライブ付近にある小さな穴(強制排出穴)に細いピンを差し込んで、ディスクトレイを強制排出させてください。(デスクトップタイプの機種によっては前面カバーを外さないと取り出せないものもあります。)

・CD-ROMディスクは次の方法でも取り出せます。

【マイコンピュータ】ウィンドウにあるCD-ROM/DVD-ROMドライブのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから[取り出し]をクリックします。

音楽CD

Q19

マルチセッションにて作成したＣＤ上で、音楽トラックが見あたらない

A

・仕様上、エクスプローラ上で確認する事はできません。

付属のCD-R/RW書き込みソフトにてご確認ください。

Q20

音楽CDを作成したが、オーディオ機器で再生できない

A

・再生機器がCD-RWに対応していない可能性があります。

CD-RWメディアをご使用の場合、再生機器がCD-RWに対応している必要があります。

・セッションをクローズしていますか？

セッションクローズ後に追記された場合、2セッション目以降のトラックを再生できません。

Q21

音楽CDが音飛びする

A

・CD-ROMディスクは正しくセットされていますか？

CD-ROMディスクの表裏を確認して、本機のディスクトレイの中心に正しくセットしてください。

・CD-ROMディスクに汚れや傷はありませんか？

CD-ROMディスクが汚れている場合、乾いた柔らかい布で内側から外側に向かって拭いてください。CD-ROMディスクに傷がある場合、データを正常に読み出せません。

・動作中に何らかの振動を本機に与えませんでしたか？

再生中、または読み込み中に振動を与えると、データの読み込みミスが起こります。本機に振動を与えないでください。

・CD-ROM に厚手のラベルを貼っていませんか？

ラベルが原因でCD-ROMが回転しない可能性があります。

Q22

音楽CDを作成することができない

A

・コピープロテクトの入った音楽CDを使用していませんか？

コピープロテクトで保護された音楽CDはコピーすることができません。
同様に、コンパクトディスク規格に準拠していない、コピープロテクト付き音楽CDの本機での動作は保障できません。(コピープロテクト付き音楽ディスクを本機で再生できない可能性があります。)本製品でのコピー(録音)については、音楽ディスクのパッケージをご確認ください。

データCD

Q23

CD-ROMディスクのデータが読み出せない

A

「音楽CDが音飛びする」の項目をご参照ください。
(☞19ページ)

Q24

違うパソコンで作成したCD-R、CD-RWメディアが読み込みできない

A

・**CD-R、CD-RWに書き込んだデータを含むセッションをクローズしたかご確認ください。**

セッションをクローズしていないと 読み込み専用ドライブでは CD-R、CD-RWメディアを読み込むことはできません。

Q25

CD-R/RWディスクにコピーしたファイル、またはフォルダが消失してしまう

A

(この現象は、Microsoft社にて確認されている不具合です。)

・**Windows XP標準のCD書き込み機能を使用してCDへ書き込みを行う際、名前に特定の文字が使用されているファイルやフォルダが消失する、という不具合が確認されています。**

Windows XP標準のCD書き込み機能を使用してCDへ書き込みを行う際、名前に特定の文字が使用されているファイル名やフォルダ名の書き込みを行った後に、その同じCD-R/RWディスクに対して他のファイルやフォルダを追加で書き込んだとき、ファイル名またはフォルダ名の一部の文字と拡張子が失われたり、CD-R/RWディスクに書き込まれたファイルまたはフォルダの全体が失われる、という現象が発生します。また、その書き込みを行ったCDは使用できなくなる、という現象が発生します。
(Microsoft社はこの不具合の修正プログラムを配布しています。)

Q26

CD書き込みのためのステージング領域にファイルをコピーすると、コピーされたファイルが元のファイルの属性を維持しないときがある

A

(この現象は、Microsoft社にて確認されている不具合です。)

・**CD書き込みのためのステージング領域にファイルをコピーした後、コピーされたファイルが元のファイルの属性を維持しない場合がある、という不具合が確認されています。**

この現象は、ファイルを保存しているドライブがFAT16または AT32ファイルシステムを使用している場合に発生する可能性があります。Windows XPでは、FAT16またはFAT32ドライブ上でのファイル属性のコピーをサポートしていません。

Q27

エクスプローラで、CD-R、CD-RW、DVDドライブ媒体内の3階層程度下のフォルダを開くと､その階層の親フォルダが、2重に表示されることがある

A

(この現象は、Microsoft社にて確認されている不具合です。)

・**CD-ROMドライブの設定を変更する必要があります。**

次の操作に従って、CD-ROMドライブの設定を変更してください。

①[スタート]ボタン→[マイコンピュータ]にある、CD-ROMドライブのアイコンを右クリックします。
②[プロパティ]をクリックします。
③[書き込み]タブをクリックします。
④「このドライブでCD書き込みを有効にする」のチェックを外します。

DVD

Q28

TideoDVDが見あたらない

A

・始めに、お客様によるソフトウェアのセットアップが必要です。

付属の「ソフトウェアセットアップガイド」を参照してセットアップしてください。

Q29

海外のDVDビデオを見るには

A

・DVDビデオにはリージョンコード(地域コード)が含まれているため、海外のDVDビデオを見ることができない場合があります。

リージョンコードは読み込みドライブごとや使用するアプリケーションによって設定されていますが、規定回数を超えてしまうとOSの再インストールを行っても変更することができなくなります。
本機はリージョン2、およびリージョンフリーのDVDビデオをサポートしています。これ以外のリージョンが記載されているDVDビデオはご利用をお控えください。

Q30

再生中の動画がとぎれる／再生がぎこちない

A

・他のアプリケーションと同時に実行していませんか？

他のアプリケーションを終了させてください。動画データなどの再生には、本機の処理能力が多く必要です。このため、複数のアプリケーションを同時に使用すると、動画データの処理が追いつかなくなり、画像がとぎれたり、動きがぎこちなくなります。

・画面設定は適切ですか？

画面の設定によっては再生に必要な処理能力が多く必要になります。解像度や色数を下げるなどの確認をしてください。(再生ウィンドウを小さくする、など)

・再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変えませんでしたか？

動画を再生中にウィンドウの大きさや位置を変えると、音飛びや画像の乱れの原因になります。ウィンドウの大きさや位置を変えるときは、一度動画の再生を停止または一時停止にしてください。

Q31

動画の再生中に画面が消えてしまう

A

・省電力機能が働いている可能性があります。

動画を再生中に省電力機能が働くと、再生画面が消えます。動画を再生するときは、本機とディスプレイの省電力機能を無効にしてください。

Q32

DVDビデオ再生でコマ落ちが発生する

A

・DMAが有効になっているかどうかご確認ください。

DMAとは、ハードディスクのデータ転送規格です。最近のハードディスクであれば、ほとんどのものがDMAに対応しています。また、BIOSでも対応している必要があります。
Windows上においてDMAでデータが転送されているかどうかは、次の手順でご確認ください。

① [スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]アイコンを選択してください。（項目が無い場合は、コントロールパネル内左に表示されている「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。）
② 【システムのプロパティ】ウィンドウ内の[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックしてください。「CD-ROM」をダブルクリックすると、接続されているドライブが表示されます。
(DVDドライブでも表記はCD-ROMドライブとなります。)
③ [表示]メニュー→[リソース(種類別)]を選択してください。
④ 「ダイレクトメモリアクセス(DMA)」をダブルクリックし、表示される項目から「DMAコントローラ」をダブルクリックしてください。
⑤ プロパティ画面が表示され、「デバイスの使用状況」が有効になってることを確認してください。無効になっている場合は、有効にしてください。

◉周辺機器のトラブル

Q33

周辺機器を接続しても、自動的に設定が始まらない

A

・周辺機器によっては、自動的に設定が始まらないものがあります。

次の手順で周辺機器を認識させてください。

① [スタート]ボタン→[コントロールパネル]を選択してください。
② [プリンタとその他のハードウェア]をクリックしてください。
③ [ハードウェアの追加]アイコンをクリックし、新しいハードウェアの追加ウィザードを起動してください。

以降の操作は、画面に表示される指示、および周辺機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

・それでも周辺機器が認識されない場合、ケーブルの接続やID番号などの設定を再度ご確認ください。

Q34

デバイスドライバをインストールしようとしても、「デバイスドライバが見つかりません」と表示される

A

・周辺機器とデバイスドライバが合ってない、またはデバイスドライバが壊れている可能性があります。

デバイスドライバを更新してください。

Q35

電源をONにするたびに、同じプリンタドライバをインストールするようメッセージが表示される

A

・最初にプリンタドライバをインストールしたとき、正しくインストールされなかった可能性があります。

次の手順で一度プリンタドライバを削除し、再インストールしてください。

① [スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[プリンタとFAX]を選択し、【プリンタとFAX】ウィンドウ内のプリンタのアイコンを全て削除してください。
② [プリンタの追加インストール]アイコンをクリックして、再度、プリンタドライバをインストールしてください。

Q36

周辺機器が動かない

A

・本機の電源をONにした後に、周辺機器の電源をONにしませんでしたか？

周辺機器の電源をONにした状態で、本機を再起動してください。USB対応機器以外の外付けの周辺機器の場合、本機よりも先に周辺機器の電源をONにする必要があります。

・取り付けた周辺機器は、本機(Windows XP)に対応しているものですか？

取り付けた周辺機器がWindows XPで使用できるものかどうか、周辺機器に付属の取扱説明書をよく読むか、周辺機器メーカに問い合わせてご確認ください。

・ケーブルは正しく接続されていますか？

周辺機器と本機がケーブルで確実に接続されているか、そのケーブルが周辺機器に対応しているか、コネクタの位置は正常かをご確認ください。

・本体内部のケーブル類は確実に接続されていますか？

内蔵型の周辺機器を取り付ける際、本機内部のケーブルがコネクタから外れている場合があります。本機内部のケーブルが確実に接続されているかご確認ください。

・デバイスドライバは正常に組み込まれていますか？

周辺機器によっては、周辺機器を取り付けた後、本機にデバイスドライバやソフトウェアをインストールする必要があるものがあります。周辺機器に付属の取扱説明書をよくお読みになり、デバイスドライバを組み込んでください。

・周辺機器を、一度に複数取り付けていませんか？

周辺機器を１つずつ外して、動作確認をしながら接続してください。

・他の機器と競合している可能性があります。

SCSI機器の場合、他の周辺機器とID番号が重なっていると認識できません。他の周辺機器とID番号が重複していないかご確認ください。また、その他にドライブ番号やリソース番号が重複していることも考えられます。ドライブ番号の変更や、リソースの割り付けを見直してください。

Q37

USB機器のコネクタを差し込んだが認識されない

A

・周辺機器によっては、自動的に設定が行なわれないものがあります。

USBコネクタの抜き差しは、3秒以上の間隔をあけてください。USB機器が何も反応しなくなった場合は、Windows XPを再起動させ、再度USB機器を接続してください。

Q38

スティック内のデータが消去できない (メモリースティック搭載モデルのみ)

A

・誤消去防止スイッチが「LOCK」にセットされていませんか？

メモリースティックの背面には誤消去防止スイッチがあります。スイッチが「LOCK」にセットされていると、データを消去することができません。

Q39

SCSI機器がうまく動かない

A

・ケーブルは各SCSI機器に確実に接続されていますか？

ケーブルが本機(SCSIカード)とSCSI機器に確実に接続されているかご確認ください。

・ケーブルの品質は大丈夫ですか?

ケーブルが断線していないか、テスターなどでご確認ください。また、SCSIでは高速データ転送を行うため、ハイインピーダンスケーブルのご使用をお勧めします。

・ケーブル長は制限範囲内ですか？

SCSI-2使用時、SCSIケーブルの総延長は3m以内という制限があります。なるべく短いケーブルを使用し、3mを超えないようにしてください。

・SCSIケーブルは適切なものですか？

SCSIケーブルは取り付けるSCSI機器のコネクタの形状により、使用するケーブルが異なります。機器のコネクタの形をよく確認し、対応したものを使用してください。機器によっては変換アダプタが必要な場合もあります。

・終端設定(ターミネータ)は正しくセットされていますか？

終端のSCSI機器に、終端設定が行われているかご確認ください。

・SCSIカードは正常に認識されていますか？

SCSIカードが正常に組み込まれていない場合、SCSI周辺機器は認識されません。SCSIカードの確認はデバイスマネージャでご確認ください。組み込みが正しくできていない場合、SCSIコントローラの項目に警告が表示されます。

・ID番号の設定は正しくできていますか？

同じID番号を複数の機器で設定していると、各機器を認識できません。各機器のID番号が重複していないかご確認ください。また、ID番号は0～6の範囲で設定してください。

・電源をONにする順番は正しいですか？

起動時、本機より先にSCSI機器の電源をONにしないと、SCSI機器は認識されません。電源をONにする順番を間違えた場合、一度本体を再起動させてください。また、デバイスマネージャでSCSIコントローラを選択し、「更新」を選択すると認識される場合もあります。

ハードウェアのトラブル

Q40

ハードディスクドライブのパーティションを分けるにはどうしたら良いか

A

・**ハードディスクをリカバリーすることでパーテーションを変更することができます。**

「工場出荷時の状態に戻す」をご参照ください。(☞39ページ)

Q41

フロッピーディスクドライブは3モードに対応しているか

A

・**対応していません。**

フロッピーディスクドライブは3モードに対応していません。1.4MBフォーマットのフロッピーディスク以外は読み込むことができません。

Q42

メモリのバンク(bank)とは何か

A

・**メモリの増設単位を指すもので、メモリ管理上の単位となるブロックをバンクと呼びます。**

Intel815チップセットの場合、認識できるのは最大4バンクまでとなっています。この場合、メモリスロットが4つ存在していても「2バンク」のメモリを使用しますと、3つ以上の増設(2×3=6)から認識しません。このような場合は「1バンク」のメモリを使用し、合計のバンク数を4以内にすることで対応できます。

Q43

CPUをアップグレードできるか

A

・**アップグレードできません。**

CPUのアップグレードはサポート対象外となります。

Q44

ベースクロック、およびCPUクロックの変更はできるか

A

・**変更できません。**

クロック変更はサポート対象外となります。

●インターネット/LAN接続のトラブル

Q45

xDSL(ADSLなど)に接続できるか

A

・xDSL接続を行う場合、通常各通信プロバイダの専用モデムが必要になります。

この際、専用モデムとパソコン間の接続はパソコンの「LANポート」または「USBポート」を使用します。この各種ポートの有無については、それぞれの機種をご確認ください。
接続方法や設定などについては各通信プロバイダによって異なりますので、お客様が加入されている通信プロバイダへご確認ください。

Q46

xDSL(ADSLなど)に接続する方法がわからない

A

・ADSLなどに接続する方法については、その機器や設定がインターネット･プロバイダに依存するため、お客様が契約されているインターネット･プロバイダ、またはNTT各社のお問い合わせ窓口をご利用ください。

SOTECテクニカルサポートセンタでは、xDSL(ADSLなど)に関するお問い合わせはお受けしていません。

Q47

モデムの接続(ネゴシエーション)音を消したい

A

・設定変更により音を消すことができます。

次の手順で設定変更を行ってください。

① [スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[電話とモデムのオプション]を選択してください。
②【電話とモデムのオプション】ウィンドウ内の[モデム]タブをクリックしてください。
③ [プロパティ]ボタンをクリックしてください。
④【モデムのプロパティ】ウィンドウ内の「音量」にて、設定バーを「オフ」の位置に移動した後、[OK]ボタンを2回クリックして、ウィンドウを閉じてください。

Q48

トーン／パルスはどのように変更するのか

A

・**ダイヤルアップ接続のダイヤル方法は、次の設定で変更してください。**

① [スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[電話とモデムのオプション]を選択してください。
② 初めての設定
ダイヤル方法から「トーン」または「パルス」を設定して、[OK]ボタンをクリックしてください。
③ 2度目以降の設定
[全般]タブをクリックしてください。
ダイヤル方法から「トーン」または「パルス」を設定して、[OK]ボタンをクリックしてください。

Q49

プロダクトアクティベーション(ライセンス認証)を求められなかったが、大丈夫か

A

・**弊社Windows XP搭載パソコンにおいては、Microsoft社との契約にもとづき、出荷前に既にライセンス認証済みとなっていますので、お客様にてプロダクトアクティベーション(ライセンス認証)を行っていただく必要はありません。**

Q50

Windows XPのプロダクトアクティベーション(ライセンス認証)とは、何か

A

・**Windows XPの不正コピーを防止するためのものです。**

プロダクトアクティベーションとは、Microsoft社がソフトウェアの不正コピーを防止するためのものです。お客様がWindows XPを使用する時に必要となる手続きとなります。
Windows XPを新しくインストールする場合や、違うパソコンへWindows XPを移動させる時などに、プロダクトアクティベーション(ライセンス認証)が必要となります。

Q51

ネットワークドライブを割り当てた状態でデバイスマネージャからLANドライバの更新を行うと、再起動時にフリーズしてしまう

A

・**ドライバの更新完了後は、次の手順で再起動を行ってください。**

① ドライバ設定の変更後、「今すぐ再起動しますか？」というダイアログが表示されるので、[いいえ]ボタンをクリックしてください。
② ネットワークアダプタのプロパティで[閉じる]ボタンをクリックしてください。
③【システムのプロパティ】ウィンドウで[閉じる]ボタンをクリックしてください。
④ このときに「今すぐ再起動しますか?」と再度表示されるので、[はい]ボタンをクリックしてパソコンを再起動してください。

・**または、全てのウィンドウを閉じたあとに、[スタート]ボタン→[終了オプション]を選択し、パソコンを再起動する方法でもこの現象を回避できます。**

◉音声のトラブル

Q52

スピーカから音が出ない

A

・スピーカの音量が「ミュート」(消音)になっていませんか？

ボリュームコントロールで「ミュート」のチェックを外してください。

・スピーカの音量は小さくなっていませんか？

スピーカの音量を調整してください。

デスクトップタイプ

・スピーカは正しく接続されていますか？

本機にスピーカが正しく接続されているか、ご確認ください。本機とスピーカの接続については、それぞれのモデルの「ユーザーズガイド」をご参照ください。

Q53

前面のイヤホン端子から音がでない

A

・初期設定で、イヤホン端子(アナログ端子)からの出力はされません。

次の設定によりアナログ信号での出力が可能となりますが、音質は劣化します。

① [スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]の順に選択してください。
② [ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]ボタンをクリックしてください。
③ 対象となるCD-ROMのプロパティを表示させせます。
④ [デジタルCD再生]の中の「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」のチェックを外します。

Q54

「ボリュームコントロール」ダイアログの「CDオーディオ」で音楽CDの音量を調整できない また、「ミュート」チェックボックスをオンにしても、音声をミュートにすることができない

A

・［コントロール パネル］の[サウンドとオーディオ デバイス]を設定する必要があります。

Windows XPでは、音楽CDのより高い音質と、ハードディスクへの高速なデータ転送を実現するために、CD-ROMからのデータをデジタルデータとして転送します。「ボリュームコントロール」の「CDオーディオ」では、デジタルデータの音量調整はできません。
音楽CDの音量は、「ボリュームコントロール」の「WAVE」で調整してください。

ディスプレイのトラブル

Q55

画面表示がブレてしまう

A

・**液晶ディスプレイの場合、使用前にパソコンとのチューニング(ディスプレイ設定「OSDメニュー」内の「AutoTune」)をして、位相を調整しないと画面表示がブレるなどの症状が起こることがあります。**

本来はCRT(液晶ではない通常のディスプレイ)でも調整が必要ですが、CRTは液晶と出力形式の違いから、画面全体が微妙にズレるなど、液晶ディスプレイとは違った症状で現れるため、視覚的には気になりません。
「AUTO TUNE(自動調整)」の項目を選択すると、2〜5秒後に自動的にサイズとポジション、位相などを調整します。

Q56

画面表示にムラがある

A

・**ディスプレイを見やすい角度に調整してください。**

液晶ディスプレイは、周囲の温度などの影響によって表示が変わる特性があります。ムラがあるのは故障ではありません。

Q57

横長の液晶ディスプレイで全画面表示で再生すると上下が欠ける

A

(この現象は、Microsoft社にて確認されている不具合です。)

・**上下が欠けない状態で、全画面表示で再生する場合は、Windows Media Player 6.4 を使用してください。**

1024 x 480 などの横長の液晶ディスプレイで動画を全画面表示で再生すると、上下が欠けて表示されます。これはWindows Media Player 7 の仕様になります。

リカバリーの際のトラブル

Q58

リカバリCD-ROMから起動することができない

A

・**CD-ROMをセットしたCD-ROMドライブが、ファーストブートに設定されていない可能性があります。**

次の項目をご確認ください。

BIOS設定にて、CD-ROMドライブが「FIRST BOOT」に設定されているかご確認ください。また、必要に応じて「FIRST BOOT」設定を変更するか、または初期設定に戻してください。
設定方法については[スタート]ボタン→[必ずお読みください]→[リカバリーについて]をご参照ください。

CD-ROMなどのドライブが2台以上ある場合は、上側のドライブを使用してください。

Windows XP(OS)のトラブル

Q59

[スタート]ボタンから[終了オプション]をクリックすると、Windowsの終了方法が表示されるが、その中の「休止状態」を選択するとどのような状態になるのか

A

・**「休止状態」は、作業中のデータをハードディスクに保存して、電源をOFFにする機能です。次に起動するときには、作業を中断する直前の状態で立ち上がります。**

「電源を切る」オプションは、前回使用していたアプリケーションなどの作業の記録を保持しないため、次回起動したときに初期画面に戻ってしまいますが、「休止状態」オプションを選択して終了すれば、使用中のアプリケーションの状態を維持したままWindowsを終了することができます。前回終了時のままの状態からすぐに作業を始めることができるので便利です。

また、「スタンバイ」というオプションもあり、これはパソコンの電源をONにしたままハードディスクドライブ、ディスプレイの電力消費を最小にする機能です。スタンバイ機能は、少しの間席をはずすときなどに、電源の消費を抑えるのに役立ちます。
Windows XPでは、スタンバイや休止状態への移行と復帰が高速化されたため、従来のWindowsよりもこの機能を快適に利用することができます。また、設定により自動的にこれらの省電力機能を動作させせることもできます。

Q60

Windowsに標準でついているフォントの、「MS ゴシック」と「MS Pゴシック」は、具体的にどういう違いがあるのか

A

・**「MSゴシック」フォントと「MS Pゴシック」フォントの違いは、文字の横幅サイズです。**

「MSゴシック」は、1文字のサイズが固定されています。こういったフォントを「など幅フォント」といいます。それに対して「MS Pゴシック」は、文字列のサイズに合わせて横幅が自動的に調整されるようになっています。こういったフォントを「プロポーショナルフォント」といいます。「MS Pゴシック」の「P」は「プロポーショナル(均整のとれた)」の頭文字であり、その事に由来しています。
また、「MS明朝」と「MS P明朝」の違いも、上記と同様です。

Q61

特定のアイコンの表示が真っ黒になる

A

・アイコンキャッシュファイルが何らかの原因で破損してしまった可能性があります。

次の手順で、アイコンキャッシュファイルを削除してください。

① 任意のフォルダをダブルクリックして、ウィンドウを開いてください。
② [表示]メニュー→[ツール]→[フォルダオプション]をクリックしてください。
③ [フォルダオプション】ウィンドウが表示されるので、[表示]タブをクリックしてください。
④「詳細設定」一覧の中の、「すべてのファイルを表示」という項目にチェックを入れて、[OK]ボタンをクリックしてください。
※ShellIconCacheファイルは隠しファイル属性がついているので、デフォルト状態では表示されません。
⑤Cドライブの中の「WINDOWS」フォルダ内に「ShellIconCache」というファイルがあるので、このファイルを削除してください。
⑥ パソコンを再起動してください。「ShellIconCache」が再構築され、アイコンの表示が元に戻ります。

Q62

Windows XPのシャットダウン中に応答が停止する

A

・Windows XPを更新する必要があります。

Windows Updateを使用して、Windows XPの更新作業を行う必要があります。次の手順でWindows XPの更新作業を行ってください。

① [スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Windows Update]をクリックしてください。
② Microsoftのアップデート用ホームページ【Windows Update へようこそ】が表示されるので、「Windows XPの再起動」という項目の修正プログラムをダウンロードしてください。
【Windows Update】でのダウンロード方法は、Microsoftホームページでご確認ください。
③ 修正プログラムのダウンロードが完了したら、修正プログラムを実行してください。

Q63

パソコンを立ち上げるたびに、Windows Messengerが起動してしまう
自動的に起動しないように設定できるか

A

・Windows Messengerは、パソコンの電源をONにするたびに自動的に起動します。

自動的に起動しないようにするには、次の設定を行ってください。

① Windows Messengerを起動してください。
② [ツール]メニュー→[オプション]を選択してください。次に[設定]タブをクリックしてください。
③ [設定]タブ内の「Windowsの起動時にこのプログラムを実行する」チェックボックスのチェックを外してください。
④ [OK]ボタンをクリックしてください。

Q64

DirectXのバージョン確認したい

A

・DirectXのバージョンは、次の方法で確認することができます。

① [スタート]ボタン→[ファイル名を指定して実行]を選択してください。
② 「dxdiag」と入力して[OK]ボタンをクリックしてください。「DirectX 診断ツール」プログラムが起動します。
③ 「システム情報」の中の「DirectX バージョン」をご確認ください。

Q65

Windows XPの修復セットアップをCD-ROMから実行したときに、Windowsのライセンス使用開始手続きを行うよう求められてしまう

A

・再度Windows のライセンス使用開始手続きが必要になります。

Windows XPの修復セットアップを行った場合、再度Windowsのライセンス使用開始手続きを行ってください。

Q66

Windows XPの「_restore」フォルダからウィルスが発見されたが、駆除も削除もできない他のフォルダのウィルスは削除できるが、このフォルダからのみ、何度削除をしてもウィルスが発見されてしまう

A

・この現象は、Windows XPの機能である「システムの復元」機能によって、ウィルス感染した状態が自動的にバックアップされてしまうことにより起こります。

ウィルス感染した状態のバックアップ(復元ポイント)が作成されてしまった場合は、バックアップファイル内のウィルス駆除はできません。そのため、ウィルスが繰り返し発見される状態になってしまいます。
このような状態になってしまった場合は、バックアップを一度破棄して、ウィルスを完全に駆除した状態で新たにバックアップを作成し直すことをお勧めします。次の操作を行ってください。

① [スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]を選択してください。
② 【システムのプロパティ】ウィンドウから[システムの復元]タブを選択して、「すべてのシステムの復元を無効にする」にチェックを入れて[OK]ボタンをクリックしてください。
③ [スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[システムの復元]を選択してください。復元ポイントの操作を行うウィザードが表示されます。
④ ウィザード上の「復元ポイントの作成」機能で、復元ポイントを作成してください。その時点のシステムのバックアップデータが作成されます。
⑤ 再度、手順①の作業を行って【システムのプロパティ】ウィンドウを表示してください。[システムの復元]タブを選択して、「すべてのシステムの復元を無効にする」のチェックをはずし[OK]ボタンをクリックしてください。

Q67

エラーが起きた時に、ダイアログの中にエラー内容をMicrosoft社にインターネット経由で送信するように表示されるが、エラー報告は必ず送信しなくてはいけないのか　また、これは何のために搭載されている機能なのか

A

・これは、Microsoft社がWindowsの不具合を修正したり、今後の製品製作の参考にするためのものです。

送信される内容は、エラーメッセージダイアログの「ここをクリックしてください」をクリックすると確認できます。
なお、エラー報告は送信しなくても支障ありません。

Q68

Windows XP Home Editionと、Windows XP Professionalの違いは

A

・Windows XPのすべての機能を搭載したのが「Windows XP Professional」、一部の機能を省略したものが「Windows XP Home Edition」となります。OSとしての基本構造は同じです。

Windows XP Home Editionで省略されている主な機能は、ネットワークドメインへの参加、暗号化ファイルシステム、IIS(Internet Information Server)など主に企業向けのネットワークやセキュリティについての高度な機能です。

Q69

シャットダウン中に「Stop 0x000000d1」というエラーメッセージが表示される

A

・本機にUSB機器が接続されている状態でシャットダウンを行うと、このエラーが発生することがあります。

Q70

「IME 2002　IMEツールバー」が表示されない

A

・フリーソフト「Hatch Inside※」がインストールされている場合にIME 2002をセットアップすると、言語バーの表示ができない場合があります。

以下の手順で回避できるかどうかご確認ください。

① アプリケーション「Hatch Inside」の常駐を終了してください。
② [スタート]ボタン→[ファイル名を指定して実行]をクリックしてください。
③「名前」項目に「msconfig」と入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。
④【システム構成ユーティリティ】ウィンドウが表示されたら[スタートアップ]タブを選択してください。
⑤「名前」項目の中から「Hatchinside.exe」のチェックボックスをご確認ください。
⑥ チェックボックスにチェックが入っている場合は、チェックを外して 、[OK]ボタンをクリックしてください。
⑦ 再起動をうながすメッセージが表示されるので、再起動を行ってください。
⑧ パソコンが再起動したら[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Microsoft Word 2002]をクリックし、Word 2002を起動して「IMEツールバー」が表示されるかご確認ください。

上記手順で回避できた場合は、ご使用の「Hatch Inside」に原因があると考えられます。インターネットナンバー株式会社では、この問題を修正したプログラムを提供しています。

※「Hatch Inside」は、インターネットナンバー社で無料配布している、Webブラウザのプラグインソフトに類するユーティリティソフトです。

・手順⑤で「Hatchinside.exe」が見つからない場合は、次の方法をお試しください。

① [スタート]ボタン→[コントロールパネル]をクリックしてください。
② [テキストサービス]をダブルクリックしてください。[テキストサービス]が表示されていない場合は、ウィンドウの左側から[すべてのコントロール パネルの項目を表示する]をクリックすると表示されます。
③ 【テキストサービス】ダイアログが表示されます。左下に表示されている[言語バー]ボタンをクリックしてください。
④ 【言語バーの設定】ウィンドウの「言語バーをデスクトップ上に表示する」チェックボックスにチェックを入れて、[OK]ボタンをクリックしてください。チェックが既についている場合は、
  a.チェックマークをはずして、[OK]ボタンをクリックしてください。
  b.[言語バー]ボタンをクリックしてください。
  c.「言語バーをデスクトップ上に表示する」チェックボックスにチェックを入れて、[OK]ボタンをクリックしてください。
⑤ 【テキストサービス】ダイアログで[OK]ボタンをクリックしてください。
⑥ Word 2002を起動して「IMEツールバー」が表示されるかご確認ください。

Q71

ごみ箱のアイコンが、初期状態で左側ではなく、右下に表示されてしまう

A

・Windows XP をセットアップすると、ごみ箱はデスクトップの右下隅に表示されます。

新規セットアップの後、初めてパソコンを起動すると、ごみ箱は自動的にデスクトップの右下隅に表示されます。

デスクトップを右クリック→[アイコンの整列]→[アイコンの自動整列]を選択して、ごみ箱をほかのアイコンと同じようにデスクトップの左側に移動させることもできます。

Q72

ネットワークセットアップウィザードを実行すると、自動的にネットワークブリッジが作成されてしまう
ネットワークブリッジを作成しないでウィザードを終了したい場合はどうすれば良いか

A

・**ネットワーク セットアップ ウィザードを実行すると、デフォルトのオプションにより、ウィザードは自動的にブリッジ接続※を行います。**

ネットワーク ブリッジを作成しないで、ネットワーク セットアップ ウィザードを完了する方法は次のとおりです。

① 「使用しているパソコンには複数の接続があります。」というメッセージが表示されたら、[ネットワークへの接続を選択する]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックしてください。
② 「ブリッジする接続を選択してください。」というメッセージが表示されるので、一覧されているネットワーク デバイスの1つを除いてほかのすべてのチェックボックスをOFFにし、[次へ]ボタンをクリックしてください。

※ブリッジ接続…複数のネットワーク、サブネット、またはリングを接続して1つの大規模な論理ネットワークを形成すること

Q73

Windows XP上で、DVD-RAMディスクは使用できるか

A

・**DVD/RAM対応のドライブでは、DVD-RAMディスクをCD-ROM/DVD-ROMディスク、または書き込み可能なディスクとして使用できます。**

DVD-RAMでは、読み取りまたは書き込み操作にFAT32(File Allocation Table32)ファイルシステムを使用しています。また、読み取り専用の操作に Universal Disk Format(UDF)ファイルシステムを使用できます。DVD-RAMでは、マルチセッションの書き込み、および論理ブロックのアドレス指定もサポートされています。

Q74

フロッピー ブート インストール用起動ディスクを作成できるか

A

・**Windows XPパッケージには、フロッピー ブート インストール用起動ディスクは同梱されておらず、Microsoft社はCD-ROMブートまたはネットークからのインストールを推奨しています。**

CD-ROMドライブが故障などして使用できない場合は、Microsoft ダウンロードセンターのサイトより フロッピー ブート インストール用起動ディスクを入手して、インストールしてください。

Q75

パソコンがフリーズしてしまい、「Ctrl」+「Alt」+「Delete」キーを同時に押してもWindowsの強制終了ができない

A

・**Ctrl+Alt+Delete キーを同時に押しても強制終了が出来ない場合は、パソコンの電源スイッチを4秒以上押し続けてください。**

なお、いきなりコンセントを抜くなどの行為は、故障の原因となる恐れがありますので、なるべく行わないでください。

Q76

Windows XP Professionalから新たに搭載された「リモートデスクトップ」とはどのような機能か

A

・**「リモートデスクトップ」は、離れた場所にあるパソコンにインターネットやLAN経由で接続して、そのパソコンのデスクトップ画面を呼び出して操作することができる機能です。**

リモート接続の許可は、あらかじめ接続されるパソコン側で設定しておく必要があります。接続されるパソコン側が無人の状態でも操作可能なので、安全面を考慮して、高度なセキュリティ設定が行えるWindows XP Professionalにのみ搭載されている機能です。

Q77

「リモートデスクトップ」機能はWindows XP Professional搭載のパソコン同士でないと使えないのか

A

・**接続される側(ホスト側)のパソコンは、Windows XP Professionalである必要がありますが、接続する側(クライアント側)のパソコンは、Windows XP Professionalの他に、Windows XP Home Editionでも構いません。**

Q78

Windows XPでは「NetMeeting」機能はなくなってしまったのか

A

・**「NetMeeting」の機能が「Windows Messenger」に統合されました。**

インターネットまたはイントラネット上で、他のユーザーと通信を行いたい場合は、「Windows Messenger」をご利用ください。

Q79

「Windows Messenger」で音声チャットやビデオチャットがうまく使用できない

A

・**お客様、または相手の方がファイアウォールを使用していたり、LAN環境でルーターなどを使ってグローバルアドレスをネットワークアドレス変換(NAT)している場合には、音声チャット、ビデオチャット、アプリケーション共有、ホワイトボード、ファイル転送、リモートアシスタンスなどの機能が利用できない場合があります。**

また、旧バージョンの「MSN Messenger」と、新バージョンの「Windows Messenger」および「MSN Messenger」との間では、音声チャットは利用できません。

Q80

「.NET Passport」とはどのような機能か

A

・**「.NET Passport」は、メールアドレスとパスワードを使用した、Microsoft社のインターネット上でのユーザー認証システムです。**

「.NET Passport」に登録すると、サインイン名とパスワードによるサインインを行うだけで、「Hotmail」などの「.NET Passport」に対応したWebサイトとサービスに、安全かつ簡単にアクセスすることが可能です。
また、Windows XPでは、「Windows Messenger」、「MSN Explorer」を使用する場合に、「.NET Passport」が必要です。

Q81

「Temporary Internet Files」というフォルダがあるが、何のためにあるのか
また、この中にあるフォルダやファイルは削除しても良いのか

A

・**一度表示したことのあるWebページの次回表示時間を短縮するために、表示済みのWebページの各種データを一時的に、「Temporary Internet Files」フォルダへ格納します。**
また、これらのファイルは削除してもかまいません。

削除すると、よく見るWebページの表示がいつもより遅く感じられることがありますが、これは新たにデータを読み込むためです。
また、一回削除をしてもまた同様にファイルを格納します。
「Temporary Internet Files」フォルダの内容は、直接フォルダに入っているファイルをごみ箱に入れても削除できますが、Internet Explorerのツールメニューを利用すると便利です。
次の手順で削除してください。

① [ツール]メニュー→[インターネットオプション]をクリックしてください。
② 【インターネットオプション】ウィンドウが表示されるので、[全般]タブの「インターネット一時ファイル」項目の[ファイルの削除]ボタンをクリックしてください。
③ 確認ウィンドウが表示されるので、[OK]ボタンをクリックしてください。

工場出荷時の状態に戻す

製品をご購入時の状態に戻すリカバリーの方法について説明します。

工場出荷時の状態に戻す(リカバリー)までの流れ

次の手順で操作してください。

ステップ1　リカバリーの準備をする

リカバリーを実行すると、ハードディスクの情報が消去されます。
必要なデータをフロッピーディスク、またはCD-R/RWディスクなどに保存してください。

ステップ2　BIOSを初期化する

製品に付属の「リカバリCD-ROM」に、BIOSマニュアルを収録しています。
設定方法は機種によって異なりますので、BIOSマニュアルをご参照ください。

ステップ3　リカバリーを実行する

パソコンの電源をONにして、CD-ROMイジェクトボタンを押し、「リカバリCD-ROM」をCD-ROMドライブに入れます。
機種によっては、CD-ROMではなくCD-R/RW、DVD-ROM、またはドライブがない場合があります。ドライブがない場合は、弊社推奨のCD-ROMドライブを用意する必要があります。

ステップ4　パソコンの環境を元に戻す

リカバリーを実行後は、パソコンを以前使用していた環境に戻す作業が必要です。
また、バックアップをとったデータを元に戻してください。

ステップ1 リカバリーの準備をする

使用していたデータや設定内容をバックアップして、リカバリー後に同じ環境で使えるようにします。ここでは、「お気に入り」に登録されたデータや、電子メール関連のバックアップ方法を説明します。

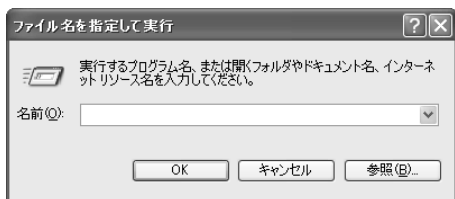
●ファイルのバックアップ

リカバリーを実行すると、ご購入後にお客様が作成・追加したデータは全て消去され、製品出荷時の状態に戻ります。お客様が作成・追加したデータは、外部記憶メディア(フロッピーディスク、CD-R/RWなど)に保存してください。

Internet Explorerの『お気に入り』のバックアップ

Internet Explorerの『お気に入り』は「C:¥Documents and Settings¥＊＊＊＊¥Favorites」フォルダ内に格納されています(＊＊＊＊にはWindows XPのユーザーアカウント名が入ります)。次の手順に従って、バックアップをとってください。

1 [スタート]ボタン→[ファイル名を指定して実行]を選択します。

【ファイル名を指定して実行】画面が表示されます。

2 「C:¥Documents and Settings¥＊＊＊＊¥Favorites」を入力し、[OK]ボタンをクリックします(＊＊＊＊にはWindows XPのユーザーアカウント名が入ります)。

【お気に入り】画面が表示されます。

3 【お気に入り】画面内にある、全てのフォルダとファイルを、外部記憶メディアに保存します。

以上でInternet Explorerの『お気に入り』のバックアップ作成は完了です。

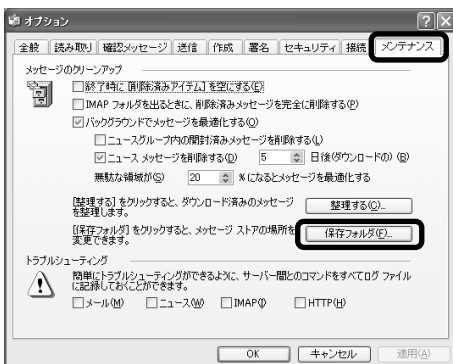
Outlook Express 6のメールのバックアップ

Outlook Express 6のメールのバックアップは次の手順に従って操作してください。

1 **Outlook Expressを起動します。**

複数のユーザーでOutlook Expressを使用している場合は、バックアップをとりたいユーザーのアカウントを選択(ログイン)します。

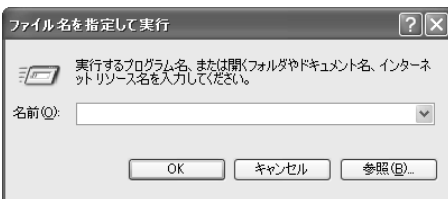
2 **[ツール]メニューより[オプション]を選択します。**

【オプション】画面が表示されます。

3 **[メンテナンス]タブをクリックし、[保存フォルダ]ボタンをクリックします。**

【保存場所】画面が表示されます。

4 **【保存場所】画面に表示されている保存場所のアドレスをメモします。**

5 **[スタート]ボタン→[ファイル名を指定して実行]を選択します。**

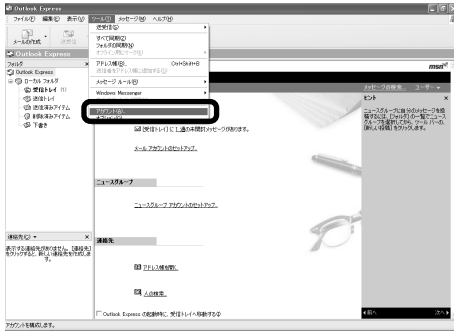
【ファイル名を指定して実行】画面が表示されます。

6 **手順4でメモした内容を入力し、[OK]ボタンをクリックします。**

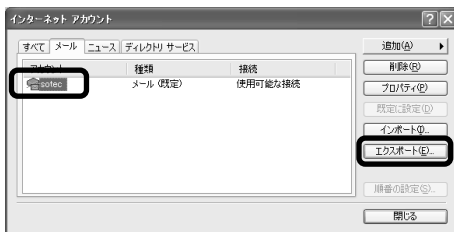
画面が表示されます。

7 **表示されているファイルの中から、拡張子が「＊.dbx」になっているファイルを全て、外部記憶メディアに保存します。**

以上でOutlook Express 6のメールのバックアップ作成は完了です。

Outlook Express 6のメールアカウントのバックアップ

Outlook Express 6のメールアカウントのバックアップは次の手順に従って操作してください。

1 **Outlook Expressを起動した状態で、[ツール]メニューより[アカウント]を選択します。**

【インターネットアカウント】画面が表示されます。

2 **[メール]タブをクリックし、表示されるアカウントの一覧からバックアップをとりたいアカウントを選択し、[エクスポート]ボタンをクリックします。**

【インターネットアカウントのエクスポート】画面が表示されます。

3 **任意でファイル名と保存場所を設定して、[保存]ボタンをクリックします。**

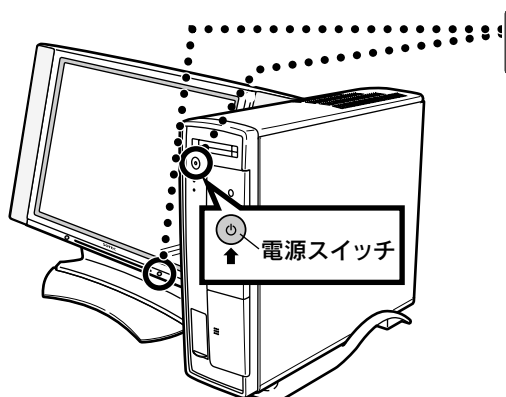
【インターネットアカウント】画面に戻ります。

以上でOutlook Express 6のメールアカウントのバックアップ作成は完了です。

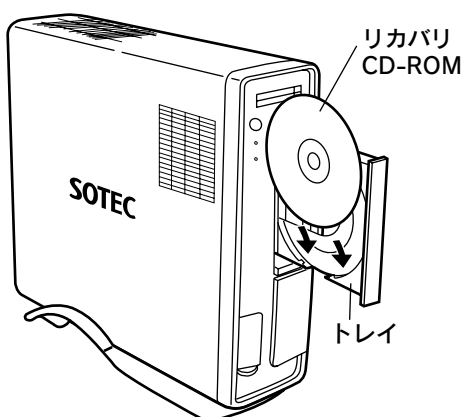
ステップ2　BIOSを初期化する

BIOSの操作方法はパソコンの機種により異なります。パソコンに付属の「リカバリCD-ROM」にBIOSのマニュアルがPDF形式で収録されています。参照して初期化してください。

ステップ3　リカバリーを実行する

リカバリーの実行は、「リカバリCD-ROM」を使用します。

※イラストはPC STATION Vシリーズのものです。

1　パソコンの電源を入れて、Windowsを起動します。

・リカバリーを実行するときは、プリンタやその他の周辺機器は接続しないでください。OSの設定時にマニュアルと異なる手順になる可能性があります。
・ノートパソコンでリカバリーを実行するときは、必ずACアダプタを使用して、コンセントから電源を確保してください。

※イラストはPC STATION Vシリーズのものです。

2　CDイジェクトボタンを押して「リカバリCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入します。

・CD-ROMドライブは、機種により名称が異なります。
・ドライブを2つ以上搭載しているモデルは、上段のドライブにリカバリCD-ROMをセットします。

3　[スタート]ボタン→[終了オプション]を選択します。

4　[再起動]ボタンをクリックします。

パソコンが起動します。しばらくすると画面にリカバリー・プログラムのメニュー画面が表示されます。

ハードディスクの復元について

リカバリーCDを使用してハードディスクの内容を復元しますと、
お客様が本製品をセットアップする前の状態になります。
（一部インストールされないアプリケーションがある場合があります）

また、復元時には、お客様がご購入後にインストールされましたアプリケーションやハードディスクに保管されているデータ等はすべて消えてしまいますので、お手数ですが各種データは事前にバックアップ作業を行った後ハードディスクの復元を行う事をお勧めします。

復元を行う場合は ………………………… ［Y］キーを押してください

データを保存する為、中断する場合は ………… ［N］キーを押してください

SOTEC

5

Yキーを押します。

【復元方法の選択】の画面が表示されます。

復元方法の選択

ハードディスクの復元方法を選択してください。

1．一般的な方法で復元を行う場合 ………………… ［1］キーを押してください
通常は、この方法を選択してください。Cドライブのみ復元を行います。

2．高度なオプションを選択して復元を行う場合 …［2］キーを押してください
ハードディスクを分割しての復元や、ハードディスク全体を1つにして復元を行います。（すべての内容が消去されます）

← 復元を中止する場合 ………………………… ［N］キーを押してください

SOTEC

6

復元方法を選択します。

一般的な方法で復元を行いたい場合
1キーを押します。 →手順7へ

高度なオプションを選択して復元を行いたい場合
2キーを押します。 →手順8へ

復元を中止する場合
Nキーを押します。
→キャンセルのメッセージが表示されるので、リカバリCD-ROMを取り出し、Ctrl+Alt+Deleteキーを同時に押して、パソコンを再起動します。

復元方法として、2種類の復元方法を用意しています。
「高度なオプションを選択して復元を行う場合」を選択した場合、ハードディスクの構成を変更する必要があるため、全てのデータが消えてしまいます（復旧することはできません）。
通常は「一般的な方法で復元を行う場合」を選択することをお勧めします。この場合、Cドライブのみ消去します。

復元の開始（一般）

この方法では、複数のパーティションが存在するハードディスクのCドライブにリカバリーを行います。

注意！
リカバリーの操作を開始すると、Cドライブの内容は消去されます。
一度消去されたデータを元に戻すことはできません。
実行中に電源を切ったり、リセットしたりしないでください。

→ リカバリーを開始する場合 ………… ［Ctrl］キーを押しながら［S］キーを押してください

← リカバリーを中止する場合 ………… ［N］キーを押してください

SOTEC

7

リカバリーを実行します。（一般的な復元方法を選択した場合）

リカバリーを開始する場合
Ctrlキーを押しながらSキーを押します。
→手順12へ

リカバリーを中止する場合
Nキーを押します。
→キャンセルのメッセージが表示されるので、リカバリCD-ROMを取り出し、Ctrl+Alt+Deleteキーを同時に押して、パソコンを再起動します。

復元方法の選択（2）

復元のオプションを選択してください。
注意！重要なデータは作業を行う前にバックアップを行ってください。

1．８ＧＢをＣドライブ、
　残りをＤドライブに使用する場合 ……… ［１］キーを押してください
ハードディスクの内容すべてが消去され、パーティションは２分割されます。

2．全体の半分をＣドライブ、
　残りをＤドライブに使用する場合 ……… ［２］キーを押してください
ハードディスクの内容すべてが消去され、パーティションは２分割されます。

3．全体をＣドライブとして使用する場合 … ［３］キーを押してください
ハードディスクの内容すべてが消去され、パーティションは１つになります。

← 戻る ……………………………… ［Ｎ］キーを押してください

SOTEC

8 復元のオプションを選択します。(高度な復元方法を選択した場合)

「高度なオプションを選択して復元を行う場合」を選択した場合、ハードディスク構成を変更する必要があるため、全てのデータが消えてしまいます。復旧することはできないので、あらかじめデータのバックアップをとりましょう。

8GBをCドライブ、残りをDドライブにして復元する場合
[1]キーを押します。
→ハードディスクの内容すべてが消去され、ハードディスクが2つに分かれます。
→手順9へ

全体の半分をCドライブ、残りをDドライブにして復元する場合
[2]キーを押します。
→ハードディスクの内容すべてが消去され、ハードディスクが2つに分かれます。
→手順10へ

全体をCドライブにして復元する場合
[3]キーを押します。
→ハードディスクの内容すべてが消去され、ハードディスクが1つになります。
→手順11へ

前のメニューに戻る場合
[N]キーを押します。
→キャンセルのメッセージが表示されるので、リカバリCD-ROMを取り出し、c+a+dキーを同時に押して、パソコンを再起動します。

復元の開始

この方法では８ＧＢをＣドライブ、残りをＤドライブとして
リカバリーを行ないます。

注意！
リカバリーの操作を開始すると、ハードディスクの内容はすべて消去されます。
一度消去されたデータを元に戻すことはできません。
実行中に電源を切ったり、リセットしたりしないでください。

→ リカバリーを開始する場合 ………… [Ctrl] キーを押しながら［S］キーを押してください

← リカバリーを中止する場合 ………… ［Ｎ］キーを押してください

SOTEC

9 リカバリーを実行します。(8GBをCドライブ、残りをDドライブにして復元)

リカバリーを開始する場合
[Ctrl]キーを押しながら[S]キーを押します。
→手順12へ

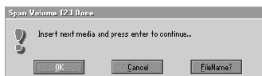
リカバリーを中止する場合
[N]キーを押します。
→キャンセルのメッセージが表示されるので、リカバリCD-ROMを取り出し、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを同時に押して、パソコンを再起動します。

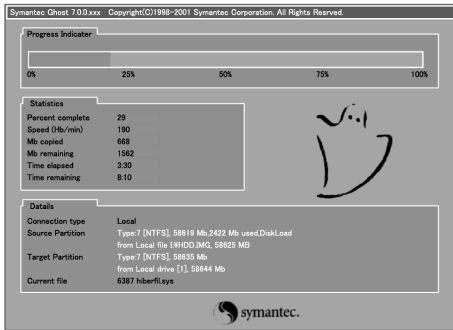
10 リカバリーを実行します。（全体の半分をCドライブ、残りをDドライブにして復元）

リカバリーを開始する場合
Ctrlキーを押しながらSキーを押します。
→手順12へ

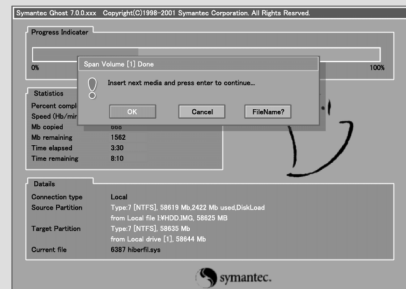
リカバリーを中止する場合
Nキーを押します。
→キャンセルのメッセージが表示されるので、リカバリCD-ROMを取り出し、Ctrl＋Alt＋Deleteキーを同時に押して、パソコンを再起動します。

11 リカバリーを実行します。（全体をCドライブにして復元）

リカバリーを開始する場合
Ctrlキーを押しながらSキーを押します。
→手順12へ

リカバリーを中止する場合
Nキーを押します。
→キャンセルのメッセージが表示されるので、リカバリCD-ROMを取り出し、Ctrl＋Alt＋Deleteキーを同時に押して、パソコンを再起動します。

12 【リカバリーについての補足説明】の画面が表示されるので、何かキーを押します。

リカバリーが開始されます。

13 復元が完了すると、以下の画面が表示されるので、リカバリCD-ROMを取り出します。

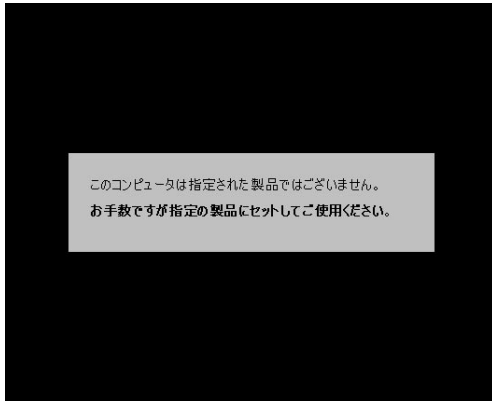
リカバリCD-ROMが複数ある場合は・・・

リカバリCD-ROMが複数あるモデルでは、リカバリーの途中で、「Insert next media and enter to continue...」というメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、リカバリCD-ROMを交換し、Enter↵キーを押してください。

14 Ctrl+Alt+Deleteキーを同時に押します。

パソコンが再起動します。パソコンの再起動後、Windows XPのセットアップが始まります。「ユーザーズガイド」を参照して、セットアップを完了させてください。

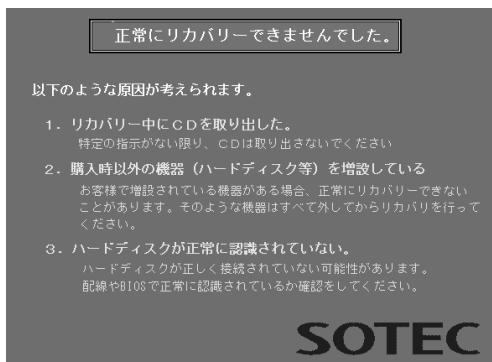
リカバリー時のエラーメッセージとその対処法

ここでは、リカバリー時に画面に表示されるエラーメッセージと、その対処法を説明します。

■「このコンピュータは指定された製品ではございません。お手数ですが指定の製品にセットしてご使用ください。」

このエラーメッセージが表示された場合、次の原因が考えられます。

□リカバリーを行うパソコン専用のリカバリCD-ROMを使用していない。

□リカバリCD-ROMを指定されていないパソコンに使用した。
　→正しいリカバリCD-ROMがセットされているかご確認ください。

■「正常にリカバリーできませんでした。」

このエラーメッセージが表示された場合、次の原因が考えられます。

□リカバリー中にリカバリCD-ROMを取り出した。
　→リカバリー手順1に戻り、再度リカバリーしてください。

□製品購入後、機器(ハードディスク)を増設している。
　→製品購入後に機器を増設した場合、正常にリカバリーできないことがあります。増設機器をすべて取り外してから、手順1に戻り、再度リカバリーしてください。

□ハードディスクが正常に認識されない。
　→ハードディスクの配線や、BIOSで正常に認識されているかをご確認ください。

■「ハードディスクが異常です」

ハードディスクが異常です

ハードディスクに異常が発見されました。

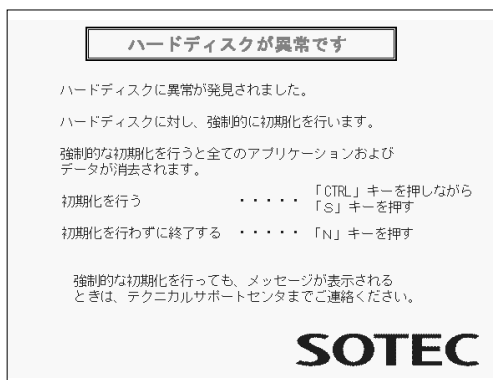
ハードディスクに対し、強制的に初期化を行います。

強制的な初期化を行うと全てのアプリケーションおよび
データが消去されます。

初期化を行う ・・・・・「CTRL」キーを押しながら「S」キーを押す

初期化を行わずに終了する ・・・・・「N」キーを押す

強制的な初期化を行っても、メッセージが表示される
ときは、テクニカルサポートセンタまでご連絡ください。

SOTEC

このエラーメッセージが表示された場合、次の原因が考えられます。

□ハードディスクの一部に異常がある。

→ハードディスクの初期化を行う必要があります。Ctrlキーを押しながらSキーを押して、リカバリーを行ってください。
データのバックアップをとっていない場合は、Nキーを押してください。キャンセルのメッセージが表示されるので、リカバリCD-ROMを取り出し、Ctrl+Alt+Deleteキーを同時に押して、パソコンを再起動します。

ステップ4　パソコンの環境を元に戻す

リカバリー終了後、パソコンの環境をリカバリー前に使用していた状態に戻します。

●パソコンの環境設定

パソコンの環境設定を行います。「ユーザーズガイド」などをご参照ください。

●製品購入後にインストールしたアプリケーションソフトの設定

製品購入後にインストールしたアプリケーションソフトは、別途インストールする必要があります。
インストールについての詳細は、アプリケーションソフトのマニュアルを参照するか、アプリケーションソフトのメーカにお問い合わせください。

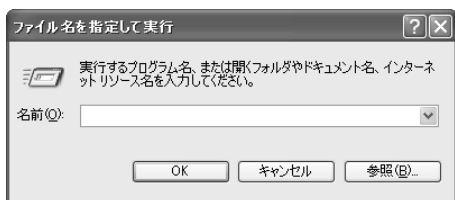
●バックアップしたファイルを元に戻す

40ページでバックアップをとったデータを元に戻します。
外部記録メディアにバックアップをとったデータは、バックアップ前と同じ場所に戻してください。

Internet Explorerの『お気に入り』のバックアップを読み込む

バックアップをとったInternet Explorerの『お気に入り』は、「C:¥Documents and Settings¥＊＊＊＊¥Favorites」フォルダ内に格納されています(＊＊＊＊にはWindows XPのユーザーアカウント名が入ります)。

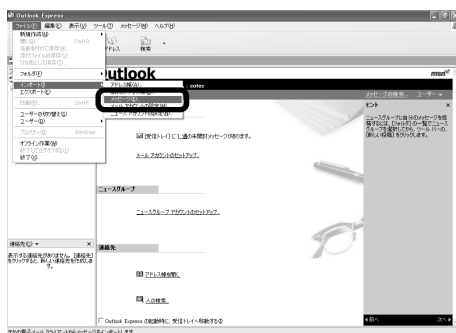
1 **[スタート]ボタン→[ファイル名を指定して実行]を選択します。**

【ファイル名を指定して実行】画面が表示されます。

2 **「C:¥Documents and Settings¥＊＊＊＊¥Favorites」を入力し(＊＊＊＊にはWindows XPのユーザーアカウント名が入ります)、[OK]ボタンをクリックします。**

【お気に入り】画面が表示されます。
以上でInternet Explorerの『お気に入り』のバックアップの読み込みは完了です。

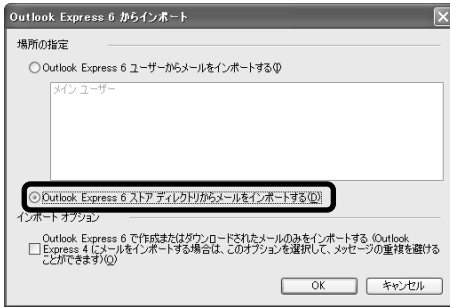
3 **外部記憶メディアからバックアップをとったフォルダやファイルを、【お気に入り】画面内へコピーします。**

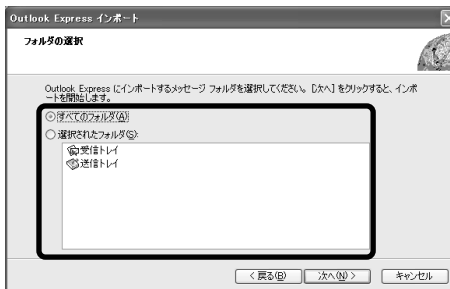
Outlook Express 6のメールのバックアップを読み込む

バックアップをとったOutlook Express 6のメールを読み込むには、次の手順に従って操作してください。

1 **Outlook Expressを起動した状態で、[ファイル]メニューから[インポート]-[メッセージ]の順に選択します。**

【Outlook Express インポート】の画面が表示されます。

2 **一覧より、[Microsoft Outlook Express 6]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。**

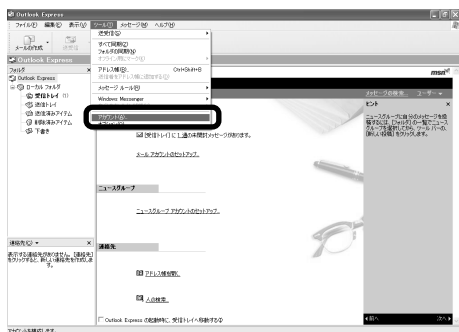
【Outlook Express 6からインポート】の画面が表示されます。

3 「Outlook Express 6ストアディレクトリからメールをインポートする」にチェックを入れて、[OK]ボタンをクリックします。

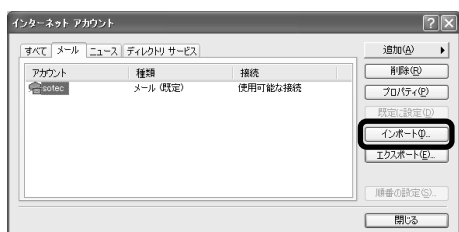
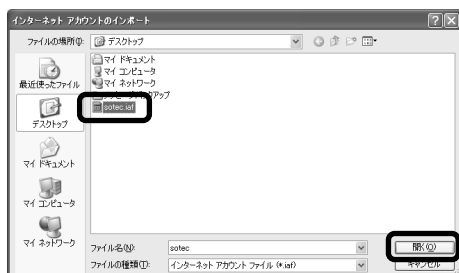
4 [参照]ボタンをクリックして、バックアップをとったデータの場所を指定して、[次へ]ボタンをクリックします。

5 「すべてのフォルダ」をチェックするか、「選択されたフォルダ」をチェックし、読み込ませたいフォルダを選択して[OK]ボタンをクリックします。

6 [完了]ボタンをクリックします。

以上でバックアップの読み込みは完了です。

Outlook Express 6のメールアカウントのバックアップを読み込む

バックアップをとったOutlook Express 6のメールアカウントを読み込むには、次の手順に従って操作してください。

1 Outlook Expressを起動した状態で、[ツール]メニューから[アカウント]を選択します。

【インターネットアカウント】画面が表示されます。

2 [インポート]ボタンをクリックします。

3 バックアップをとったiafファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。

以上でメールアカウントのバックアップの読み込みは完了です。

©2002 株式会社ソーテック
困ったときには・・・
2002年8月 第2版